

# 山のトイレ

はいせつはたいせつ



## No.24 協議会通信

2020 WINTER

山のトイレ、環境を考える福岡協議会通信  
第24号 2020年12月1日号

11/27に完成予定の  
新しい避難小屋です



【特集】

### 久住分かれ避難小屋携帯トイレブース視察

くじゅうのトイレ署名活動と今後の活動について



携帯トイレブースが  
2基新設されます



### 2019年度定期総会報告・活動報告



### 新コーナー・山のトイレコレクション

### ●山ピカ・各会の清掃活動報告



久住分かれの避難小屋が建て替えられ、2020年11月27日に完成の予定です。今回、避難小屋に携帯トイレブースが2基新設されます。

NEW!!  
避難小屋

併設して新設の  
携帯トイレブース

たぶん

# 5490筆の署名が 大分県を動かしました

## 【特集】

## 新・久住分かれ避難小屋 携帯トイレブース視察

くじゅうのトイレ署名活動と  
今後の活動について

久住分かれの避難小屋が建て替えられました。当初は2020年8月の山の日までに完成との目論見でしたが、悪天候・豪雨被災に阻まれ2020年11月27日まで伸びました。

避難小屋事態は、すでに今年に入って老朽化が進み、雨漏りが酷く、また倒壊の危険性もあることから、使用不可能となっていました。

新しい久住分かれ避難小屋は、しっかりとしたつくりで、内装もとてもキレイになりました。しかも、頑丈な携帯トイレブースが2基、そばに併設されました。

2020年11月6日(金)～7日(土)。「山のトイレ、環境を考える福岡協議会(以下当会)」では、大分県環境推進室の呼びかけで開催された「第4回山のトイレをキレイにし隊」に参加すると共に、この新・避難小屋と携帯トイレブースを一足早く視察してきました。(記・酒井)



▲建替前の避難小屋。すでに雨漏りが酷く使用不能となっていた



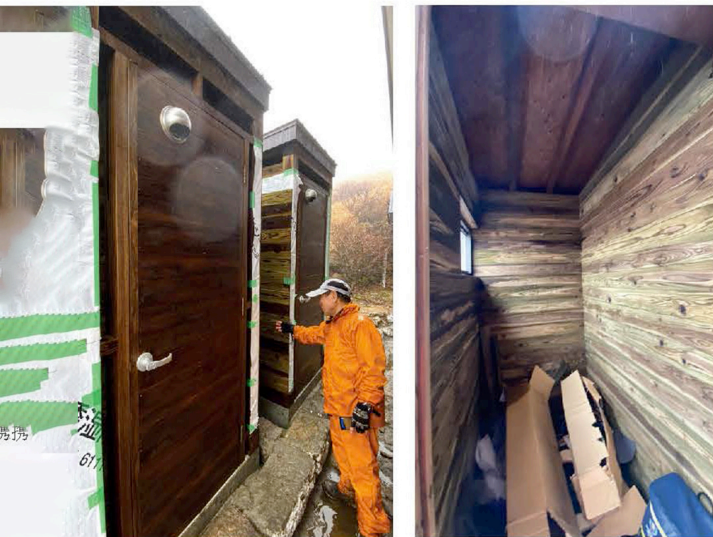
▲新しい避難小屋は木造づくり ▼内装もとてもキレイです







▲避難小屋としての機能は十分。冬場でも使用に耐えうるつくり



▲携帯トイレブースは一般的なトイレの便器がないといった感じ



▲避難小屋編スロープには、旧避難小屋の壁石が敷きつめられる

## 冬季でも十分使用可能な 避難小屋と携帯トイレブース

今回、大分県環境推進室の川島さんの案内で、完成前の避難小屋の内部を特別に見せて頂きました。

新・避難小屋は木造構造で、基礎もしっかりしており、中に入ると、観光地や近所にあるような食堂を思わせるような板張りのキレイな内装です。

入ってすぐの所に木のテーブルとベンチがあり、ちょっとした休憩も出来るようになっています。

今までの吹きさらしのほとんど東屋構造であった避難小屋に比べれば、快適性は格段にあがっているなあとおいう印象です。

併設される携帯トイレブースですが、簡易的なものではなく、とてもしっかりとしたつくりになっています。外見はよくある屋外の公衆トイレですが、内部は便器などのトイレの施設部分が全くないという感じ。

これなら冬季に風雪にさらされながら、恥ずかしい思い出トイレをすることもなく、安心してゆったりとした気持ちで用を足すことが出来ることと思います。

なお、古い避難小屋の白く塗られた石壁は、入口前のスロープの敷石として再利用されています。資材の再利用であるとともに、久住分かれの歴史を文字通り踏みしめることの出来る演出が成されています。



# “くじゅう”でトイレを エコで快適に1年中使いたい

署名活動にご協力を！

## ■大人気のくじゅう、 来訪者の6割は福岡から！

くじゅう山系は自然・景観・気候・文化の宝庫です。秋の紅葉から春の桜まで、四季を通じて観光客が訪れます。また、くじゅう山系は自然・景観・気候・文化の宝庫です。秋の紅葉から春の桜まで、四季を通じて観光客が訪れます。また、くじゅう山系は自然・景観・気候・文化の宝庫です。秋の紅葉から春の桜まで、四季を通じて観光客が訪れます。

## ■まずは久住分れのトイレ問題から

久住分れのトイレは冬閉鎖・バイオトイレの活用で改善されています。冬閉鎖は12月～3月は閉鎖されます。バイオトイレは冬でも使用できます。冬閉鎖は12月～3月は閉鎖されます。バイオトイレは冬でも使用できます。

## 2・ハイシーズンの キャパオーバー

ハイシーズンは登山客が増え、トイレが混雑します。混雑の解消には、バイオトイレの活用が有効です。ハイシーズンは登山客が増え、トイレが混雑します。混雑の解消には、バイオトイレの活用が有効です。



## 3・環境への負荷

紙製トイレは大量の紙を消費し、環境に負荷がかかります。バイオトイレは紙を消費せず、環境に優しいです。紙製トイレは大量の紙を消費し、環境に負荷がかかります。バイオトイレは紙を消費せず、環境に優しいです。

## ■署名にご協力をお願いします！

久住分れのトイレ問題の改善には、署名活動が有効です。署名活動を通じて、関係機関に改善を促すことができます。久住分れのトイレ問題の改善には、署名活動が有効です。署名活動を通じて、関係機関に改善を促すことができます。



▲2019年11月に会場のよびかけで署名活動を行い、日本全国から5490筆の署名があつまりました。2020年2月22日、事務局長・貞弼より大分県環境推進室長に署名を提出。トイレ問題の改善を要望いたしました。

# 久住山系の「山のトイレ」 の改善署名運動が ”たぶん”功を奏しました！

「くじゅうでトイレをエコで快適に1年中使いたい！」。当会が「くじゅうのトイレプロジェクト」に取り組み始めたのは2019年夏頃からでした。

なんといっても、久住分かれのトイレが、ハイシーズンにはバイオトイレが満杯になって使用不能に、冬季にはバイオトイレの核となる微生物が低温で活性化できずに、閉鎖となる問題を抱えていました。

2019年秋には設備故障で使用不能となり、今期冬シーズンは避難小屋も使えないという状態でした。しかも、頼みの綱の牧ノ戸登山口のトイレにも設備故障がおきて100%使用可能な状態でないという現状もありました。

当会では、こういった現状を鑑み、「まずは久住分かれのトイレ問題から！」との思いで、署名活動を1か月強という短期間で行いました(Webでも署名をつりました)。その結果、5490筆の署名が一気に集まりました。

この署名については、大分県環境推進室に2020年2月に提出。同室長から「前向きに検討する」という返事を頂きました。

この結果が、たぶん功を奏した事と思います。“たぶん”とするのは、確認をよくしていないところもあります。ですが、「当会がやったんだぞ！」と名声や地位を得たいのではなく、当会のアクションでトイレ問題が着実に前進すればそれでよいと思っているからです。

今回、携帯トイレブースが新設されましたが、使用済みの携帯トイレを回収するゴミ箱などは設置されておらず、エコシステムについては全くの白紙状態です。

当会の活動はまだまだこれからですね。



▲法華院山荘前で署名活動を行い153名の署名を得ました



▲解体した旧避難小屋。重機をヘリで運んでの作業



▲7月上旬のくじゅう一帯の災害を乗り越えての建設です



# 山のトイレ協議会は

# 山のトイレ普及活動を目指して

# 2020年度もアクションをしていきます！



▲天孫降臨伝説の残る高千穂峰山頂。ここでは山頂に携帯トイレがあり、ふもとにはトイレ回収ポストが設置されており、「山のトイレ」問題に積極的な活動が実現している。

## 仏つくって魂入れず？

くじゅうの山のトイレ問題は、久住分かれに携帯トイレブースが新設されたことで、確実に前に進みました。しかしながら、まだまだ「仏つくって魂入れず」といった現状です。

といいますのも、携帯トイレブースをつくっても、北海道や九州南部の高千穂峰で当然のように行われている「使用済み携帯トイレの回収」という体制については白紙のままなのです。

大分県が配布した携帯トイレには「携帯トイレは自分で処分をお願いします」と、スタンスが明確に示されています。



▲大分県が配布する携帯トイレ。「久住分かれのバイオトイレは緊急避難用です。できるだけ登山口のトイレをご利用下さい」「※携帯トイレは自分で処分をお願いします」と記載されている。

## 3つのアクションで、山のトイレを普及します

当会では、今後もくじゅうのトイレ問題を含めて、山のトイレの普及活動を大きく3つの柱で行っていきます。

### ①持続可能なリサイクル体制

くじゅうに使用済み携帯トイレ回収ポストを設置し、回収してくれるような体制を整えるべく呼びかけと活動を行います。

### ②携帯トイレ普及イベント開催

これまで携帯トイレ普及活動を行ってきましたが、これからもより規模を大きくしたり、楽しいアイデアを盛り込んで携帯トイレ普及イベントを開催します。

### ③使用済み携帯トイレ運搬容器の開発

使用済みの携帯トイレをバックパックの中に入れるのは躊躇ってしまいます。そこで、今後に向けて運搬容器の開発や、運搬方法を提案していきます。

携帯トイレ普及！  
当会の3つの柱

持続可能な  
リサイクル体制

携帯トイレ  
普及イベント開催

使用済みの  
携帯トイレ  
運搬容器開発

Sustainable  
with Toilet  
LuckyCarrier





▲当日、運動に参加したメンバーで記念撮影



▲用意された水を久住分かれに運び上げるのが最大のミッション



▲小雨というより、雨雲の中の山行となりました



▲久住分かれに到着すると、トイレ掃除はすでに終わっていました (写真は大分県環境推進室の川島さんにポーズをとってもらいました)

## トイレ清掃、間に合いませんでした！

### 「第4回山のトイレをキレイにし隊」参加報告

今回の視察のきっかけは、大分県環境推進室より「第4回・山のトイレをキレイにし隊運動」への参加呼びかけがあったからです。これは牧ノ戸峠登山口から水の入ったペットボトル（1リットル）を、久住分かれまで持ち上がり、トイレを清掃しよう！という活動です。

あいにくの小雨でしたが、総勢40名が参加。うち20名は一般参加・県職員、残り20名は山岳活動をしている人たちで、そのうち10名が当会からのメンバーでした。

気温16度。11月上旬としてはとても温かい気候でした。8時00分に開会式があり、先発隊が8時15分に出発、我々は8時30分以後発隊として出発しました。

雨と言うより、雨雲の中を稜線沿いに歩いているという感じでした。今回、同行したのぼろ編集部の大西さんは、くじゅう登山がはじめてということで、安全第一でゆっくりとのぼりました。

10時30分、久住分かれに到着してみると、すでにトイレ掃除は終わっていました。残念！そのかわりにたっぷり、避難小屋とトイレプールの視察を行うことが出来たので、大満足です。

## 牧ノ戸登山口トイレもキレイになっています！

本来8月に大分県主催で山の日イベントが行われる予定でした（コロナ禍のため2021年に延期されてしまいました）。これにあわせ7月14日に牧ノ戸登山口のトイレも改修されました。

男性トイレは小便秘器を修理して4基使えるように、大便器も2つに増設して、洋式に取り替えられました。女性トイレも大便器を5基に増設、すべて洋式便器に取り替えています。

また、屋根や壁の汚れを落として、キレイに塗り替えられています。今度牧ノ戸登山口のトイレを利用するときは、かわったんだな～と思いつつ、利用してみてくださいね！





# 山のトイレ・環境を考える福岡協議会 令和元年度・第12回定期総会【報告】



## ■令和最初の定期総会

令和元年度、山のトイレ・環境を考える福岡協議会、第12回定期総会及び講演会が令和2年9月13日(日)14時より福岡市中央市民センターで開催されました。議長に山上司氏が選出され、活動報告・令和2年度活動計画・令和2年度会計予算・会計監査報告・運営委員会開催報告があり、これらについて質疑応答の後、役員改正がなされ、議案は全て出席者全員の了承を得て成立しました。参加者は個人10名、団体会員4名。これに、のぼる編集部・大西さんをオブザーバーに迎え計11名でした。

## ■コロナ禍の中で...

本来、当会の総会は毎年7月に行われますが、今年は新型コロナウイルスの自粛により延期を余儀なくされました。例年の記念講演・懇親会も設定せず、規模を縮小しての総会でしたが、中身の濃いものとなりました。

## ■新たなチャレンジの突った1年

コロナ禍に見舞われた本年度でしたが、①くじゅうのトイレ問題への取り組み②ブログの開設と、当会として新たな活動への取り組みを行い、爽りある1年となりました。

## ■総会で出された質疑

【質疑】(高松) 会計報告・予算について、協賛金がどちらも0円となっているが、以前から、協賛団体として協賛金を頂いていた団体は協賛を取りやめたのか？取りやめたようであれば、経緯を鑑みてあらためて協賛をお願いした方がいいのではないかと？

【応答】(貞莉) 協賛団体からの協賛金の継続については、経緯を確認したうえで、次回の運営委員会にはかつて協賛について確認します。

## ■総会で出された要望

【要望】(磯野) せっかくブログが出来たので「山のトイレコレクション」というコーナーを開設してはどうか。当会のブログを見れば、山のトイレの詳細がわかるようにしてはどうか。投稿方法等についてなにか方法はありますか？

【応答】(酒井) 開設については良いと思いますので、実行します。投稿方法については直接頂く以外のその他の検討します。掲載方法については、ポストマップというサイトがあるが、山のトイレが地図上に位置が表示されてクリックすれば詳細が見られるようにするなど、手法を検討したいと思います。

【応答】(山上) 良い提案です。みなさん、ふるって投稿して下さい。

【応答】(貞莉) 九州にかぎらず、山のトイレコレクションを集めていきたいです。各団体に呼びかけたいと思います。

## ■役員改選

当会の運営委員会の役員改選が行われました。

長年、会の活動に貢献されてきました、池松氏・温品氏が退任され、あらたに、福岡県勤労者山岳連盟・自然保護部長の堀田氏が新たに加わりました。なお、温品氏は会計監査として引き続き会の運営に携わることとなりました。

(記・酒井)





## ■総会第1号議案+αです！

2019年度も山のトイレ・環境を考える福岡協議会は様々な活動を行いました。ここでの報告は総会での第1号議案でもありますが、改めて昨年度の活動+αの情報を皆様にお伝えします。

## ■第11回定期総会及び講演会

2019.7.7(日) 福岡市立早良市民センターで第11回定期総会を行いました。  
20名参加。2018年度活動報告他、2019年度の活動計画他、運営委員会報告、新役員改選が承認されました。続いて、前九州産業大学院教授・横山秀司氏を講師に「九州のジオツーリストマップと自然保護」と題し、ジオツーリストマップを基に講演をいただきました。

## ■九重山域の自然環境保全に向けた取り組み

(1)九重山系の「山のトイレ問題」改善に係る署名と要望書の提出

2019年10月1日より福岡県等九州各県の山岳団体・期間に向けて九重山系のトイレ問題改善署名活動を開始。5,490名分の署名を2020年2月21日に大分県知事要望書として同県自然保護推進室長に提出しました。

(2)(仮)くじゅう連山の山のトイレ問題を考える合同会議

2019年11月27日にホテル花山酔(大分県九重町)にて福岡県・大分県・熊本県の山岳関係者及び当会の会員等12名が集まり、九州を代表する九重山系の「山のトイレ問題」について合同会議を行いました。 ※(1)(2)の詳細については特集頁にて詳細報告をしております。

## ■山のトイレマナー及び環境保全に関する活動

2019.6.22(金) 第4回夏山フェスタ in 福岡で23日(日)14:00~14:50に「山のトイレ事情と携帯トイレの使い方」  
~23(土)のセミナーをおこないました。講師・当会の磯野文雄氏。①法律面から②英彦山・福智山・宝満山のトイレ設置の経緯③久住分かれのトイレ問題③高千穂のトイレの取り組み④携帯トイレ使い方実演⑤北海道の取り組み⑥まとめという内容で講演し、公表を博しました。

## ■清掃ハイク活動

2019.10.20(日) 福岡件勤労者山岳連盟主催で秋の清掃ハイクを行いました。九州地区は福智山で合同、福岡地区と久留米地区は各会毎に、大牟田地区は小岱山で、合同で行いました。参加者368名、可燃ゴミ127kg、不燃ゴミ165kg、合計292kgのゴミを収集しました。

2020.5.17(日) 福岡県勤労者山岳連盟主催分、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言のため中止

2018.5.24(日) 日本山岳連盟北九州支部主催分、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言のため中止

## ■「山のトイレ協議会通信」発行

2019.11.18発行 第23号 B5版8ページ100部。2019年度総会・講演会、九重トイレ問題に関する署名協力

## ■当会のホームページの立ち上げ

2019.10.1(火) 当会のブログを開設、同11.1(金)久住分かれのトイレ・署名活動キャンペーンを行いました

## ■「山の日」制定記念行事

2019.8.11(火・祝) ①日本山岳会北九州支部主催、風師山~矢筈山 参加者90名(内子供15名)

②福岡県山岳連盟、日本山岳会福岡支部主催、英彦山 参加者40名

③福岡県勤労者山岳連盟主催、参加者一般10名、会員30名、計40名

## ■トイレのメンテナンス活動

①福智山のバイオトイレ改修(トイレ本体が老朽化したため装置全体を更改しました)

②英彦山のバイオトイレの維持管理(筑豊山の会他、6トイレ清掃協力団体)

バイオチップをアイテックシステムに発注、清掃登山と共に行う予定でしたがコロナ禍で中止となり、今年は筑豊山の会で荷下ろしを行いました。



# 山のトイレの活動が

ちょっと自慢

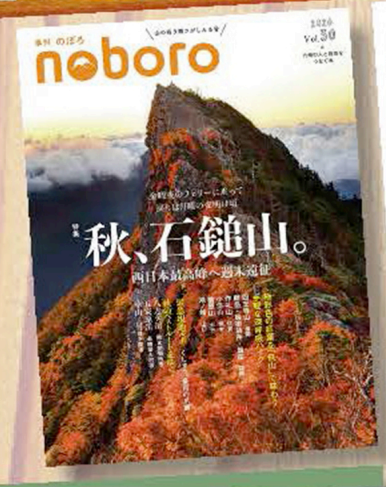
●当会も取材に全面協力

# 「のぼろ」に掲載されました



季刊のぼろ 2020 Vol.29  
「山のトイレ」を考える。

バックナンバーは書店・Amazonで買えますが、  
のぼろ編集部に直接お願ひすることも出来ますよ！  
問い合わせ先 西日本新聞社 ビジネス編集部 TEL092-711-5419



季刊のぼろ 2020 Vol.30  
続「山のトイレ」を考える。



当会にはオブザーバーとして西日本新聞社、のぼろ編集部員の大西氏が参加されています。  
彼が中心となり、のぼろ本誌にて山のトイレをめぐる現状・課題を取り上げた記事が  
2号連続で掲載されました。当会も取材に全面協力しています。これを機会に山のトイレ  
と環境を考えるアクションがグンッと広がるとイイですね！  
みなさん、ぜひご覧下さい！



山をキレイにしとります

# 山ピカ

清掃・環境活動報告



ゴミを拾ったり、山のトイレを清掃・メンテナンスしたり、当会にかかわるみなさんの、地道だけれど大切な「山をピカピカにする活動」、略して山ピカ活動。今回は「英彦山のトイレ清掃」と「天拝山清掃ハイク」を紹介します。

## ●第60回英彦山トイレ清掃 2020.9.22 火曜日 田川カタツムリ山の会

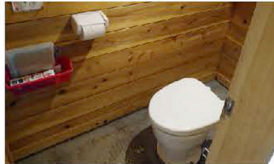


★清掃箇所：9月22日 第1号機、第2号機 便器の清掃、点検簿記入、

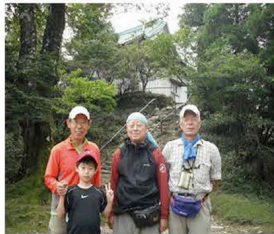
★その他：器機点検、トイレの器機電源の点灯・作動異常なし

第60回の英彦山トイレ清掃は天気に恵まれ登山日和でした、23日は所用があるため、清掃日は22日に変更しました。今回は大人3名・子ども1名・計4名が参加。

奉幣殿に9時30分集合。Tさんはお孫さんと中央コース、私たちはいつものボッカ道コースを歩きます。



山頂に11時15分に同時到着し、清掃作業を始めます。便器にパイオチップの粉末が付着していたため、便器の汚れをブラシでこすりました。清掃は11時45分終了。当日は休日と好天気で登山者は多かったです。



軽い昼食の後、Tさん達は南岳へ私たちは北西尾根コースで下山しました。

山頂を12時20分出て駐車場に13時40分到着、歩行距離5.2km。

参加者の皆さんご苦労様でした!!!

Tさんからの連絡で、お孫さんが「楽しかった今度は福智山に登りたい」とのこと、「楽しい一日になった」と言っていたとのことです。

(写真・文 荒木 辰彦)

## ●天拝山清掃ハイク

2020.10.25 日曜日 あだると山の会

★収集ゴミ：合計 3.7kg (可燃ゴミ 2.7kg 不燃ゴミ 1.0kg)

春の清掃登山はコロナのため中止。

青空の下各ブロックに分かれてごみを探して歩きました。

昨年は道路下の不法投棄を見つけてしまい大変でしたが、今回は一般道路も公園も山道もほとんどゴミらしきものはなくちょっと拍子抜け。

望ましいことですが…

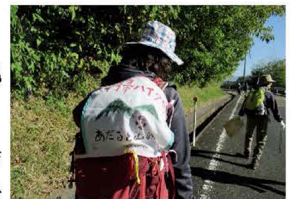
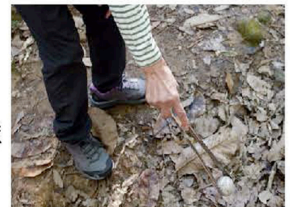
清掃後には歴史公園に集合して各ブロックごとに昼食を食べながら懇親会でした。

私たちはそれぞれ自慢してもよいことをテーマにKさんの「最近背筋を伸ばすことを心掛けている」とのお話に確かに背筋が伸びて若々しい姿に感嘆しました。

ベテランは過去の思い出に残る山の話とか、仕事のハードさに<sup>じんましん</sup>蕁麻疹ができていたのに山の会へ入ったら一度も出なくなったとか、仕事、介護などもあるけれど体力のあるうちに登っておかなくては!と思ったとか……

今月(あだると山の会に)入会した会員さんからの抱負とか、いろいろなお話が出て楽しいひと時でした。

(写真・文 都築 啓子)





あんなトイレ  
こんなトイレ  
ご紹介します



# これくしょん

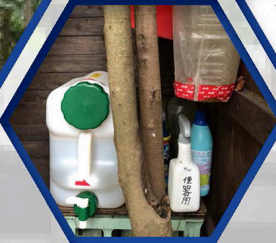


地元の人  
ありがたい  
おもてなし



## 岩石山(がんじゃくさん) 山頂の尾根筋トイレ

▼場所: 福岡県田川郡添田町添田・岩石山、山頂からの尾根筋 ▼くみ取り式 ▼人々の尽力により守られた山のトイレです。あじわいがあって、とてもおすすめです (磯野)



## 立花山(たちばなやま) 新宮町側登山口トイレ

▼場所: 糟屋郡新宮町 / 福岡市東区 / 久山町・立花山の新宮町側の駐車場付近 ▼水洗方式 ▼水洗のできるトイレ、駐車場・トイレが出来たのでメイン登山口になりつつあります。(磯野)

トイレ&P  
でメイン  
登山口に!



今号から、  
日本全国にある  
山のトイレこれく  
しょんをお届けします。



九州をメインに、あんな所、こんな所のトイレを写真とワンポイント解説で、みなさんにご紹介!

また皆様からのおすすめトイレも募集します

山頂の  
観光地並  
トイレ!



## 若杉山(わかすぎやま) 山頂駐車場トイレ

▼糟屋郡篠栗町 / 須恵町・若杉山山頂駐車場 ▼水洗方式 ▼山のトイレというより、観光地にあるようなキレイで立派なトイレです。(磯野)



おすすめトイレ教えてください  
場所・写真・おすすめ情報を添えて  
最終ページの連絡先までお送り下さい!



- 山のトイレマナーと環境にやさしい登山を ●
- ・ 山に入る前にはふもとのトイレで用を足しましょう
  - ・ 山中では設置のトイレで用を足しましょう
  - ・ トイレにゴミは捨てないようにしましょう
  - ・ 公衆トイレがない山では携帯トイレを使いましょう
  - ・ やむをえず山中（トイレ以外）で排泄するときは  
穴を掘って埋めるなどの処理をしましょう
  - ・ 使用済みのペーパーは必ずもちかえりましょう
  - ・ 花を手折ったり、盗掘はやめましょう
  - ・ 登山時のゴミはもちかえりましょう

はいせつはたいせつ



山のトイレ・環境に関する情報や会員皆様の活動報告  
ご意見を募集しています

みなさまの率直なご意見、ぜひともいただきたく存じます。

原稿の送り先 [dj.sakai@icloud.com](mailto:dj.sakai@icloud.com) 又は下記の九州登山情報センター内まで

山のトイレ・環境を考える福岡協議会

運営委員事務局（山のトイレ通信担当）酒井正志

会費未納の方へお願い！

払込書を同封しています。ご協力よろしくお願い致します。  
会計より

山のトイレ協議会通信 第24号

発行日：2020年12月1日

山のトイレ・環境を考える福岡協議会

〒818-0115 太宰府市内山708番 九州登山情報センター内

TEL & FAX 092-928-2729(水・木曜日休)

ブログはじめました <http://yamatoiletjpn.blog.jp/>